

第22期

事業報告書

自 令和4年 4月1日
至 令和5年 3月31日

【目次】

令和4年度 事業報告	P1
令和4年度 収支・監査報告	P5
令和5年度 事業計画	P9
令和5年度 収支予算	P12

【令和4年度 事業報告】

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

1、昨年総会の報告

令和4年5月29日「第21回通常総会」は、3年ぶりに会合形式で開催いたしました。総会議案書と出席者の議論によって次のように当面の活動等を取り決めました。

- ① 出席者 14 名 委任状 53 名（総会員数 88 名）
- ② 主な決定事項
 - 事業報告、決算、事業計画、予算を原案通り承認。
 - 新理事会を構成する理事 7 名、監事 2 名の選任を承認。
 - 「大人の原提言」「里づくり会」「御香水支援」「水生生物調査」「惟喬親王法要」等の開催はコロナウイルスの感染拡大が危惧されることから開催の是非について慎重に検討しました。
 - 以上の状況から引き続き会費を集めない事を決定した一方で、財政基盤構築の観点から任意の寄付金を呼びかけることを決定しました。
 - 広報紙「大原草紙」は従来通り発行することを確認しました。

③ NPO 運営態勢

【業務担当】

西田理事長	総括、大原草紙、惟喬親王法要関係
上田副理事長	大人の原提言、里づくり会、御香水、JA 跡地利用関係
高倉常務理事	環境保全、高野川水生生物調査、
佐々木春美理事	環境保全、オオムラサキ関係
是恒千鶴子理事	歴史文化、高齢者の居場所づくり、大原 10 名山
渡辺民理事	JA 跡地利用関係
西山安佳里理事	歴史文化

【事務局態勢】

竹腰サポーター	ホームページ、総務事務、会計事務
高倉サポーター	大原ゴミ減量会議
高田サポーター	大原草紙、里づくり会
安倍サポーター	大原草紙

2、令和4年度の業務報告

- 会員の増減状況は入会7名、退会1名、今期末現在員総数は94名です。
- 理事会の開催方法について模索しながら、今年度は隔月に7回、平日午後に開催しました。
- 引続きコロナウイルスの感染予防のため各種活動の中止、規模縮小をせざるを得ない状況下の中で、新生里づくり協会の方向模索と、従来展開をしてきた事業の見直しを進めてきました。

(1) 寄付金

個人法人あわせて23名様より、合計161,800円の寄付金が集まりました。

(2) 環境美化（ごみ減）

① 使用済み家庭用天ぷら油の拠点回収事業（※）

- 大原地域における拠点回収の助成金として京都市より18,500円の入金がありました。
- 登録されていた10ヶ所の拠点情報を見直し、京都市へ報告をしました。現在は国道沿い「わいわい朝市会場」の1ヶ所に集約されています。
- 今後について理事会で協議した結果、「わいわい朝市会場」の拠点も令和5年6月を最終として閉鎖し、本事業を終了することを決定しました。

※ 本事業は京都市環境政策局が運用し、回収された油はバイオディーゼル燃料としてリサイクルされ、市バスやゴミ収集車の燃料に使用されています。

② 生ごみコンポストの運用事業（堆肥化コミュニティ事業）

- 令和3年度（前年度）に事業終了していましたが、年度をまたいで京都市より助成金36,660円が入金されました。同時に本事業の管理をお願いしていたTさんに委託費36,000円を支払いました。

(3) 環境美化（案内看板）【支出なし】

- カントリーウォーク事業等で設置された「ぐるり大原の里」案内看板についてのフィールド調査を実施しました。大原地域内に34ヶ所の存在を確認し、その内約9ヶ所の腐敗や老朽化が確認されました。
- 修繕の是非について議論をしてきましたが、後の世代へ管理負担が残ってしまう観点から、修繕せずに腐敗したものを撤去する方針としました。

(4) 海外留学助成金【支出なし】

- 予算 10 万円 (2 名分) を計上していましたが、大原学院とハワイ大学の交流が新型コロナ禍により休止中のため、実施しませんでした。

(5) 声明を唄う会【支出なし】

- 会の発足と事業実施を目指して議論してきましたが、宗教行事である「声明」を NPO が主催者として普及後押しすることの是非を議論した結果、事業実施を断念しました。
- 個人の有志として会が立ち上がった場合は、大原草紙を通じて広報協力することを確認しました。

(6) 高齢者の居場所づくり【支出なし】

- 地域包括センター、社会福祉協議会、大原健康友の会、里づくり協会の 4 者にて協議会を発足しました。

(7) 10 名山登山会【支出なし】

活動を再開しました。合計 2 回の実施、3 歳～70 歳代まで、各 10 名～20 名程の参加がありました。

◎1/21 「ソリ遊び」 ※金毘羅山ハイキングを予定していたが、
雪により予定変更 (子供の参加者が多かったため)

◎3/21 「金毘羅山ハイキング」

(8) 広報紙「大原草紙」の発行

計 4 回分を発行しました。予算 15 万円のところ、ページ数の増加により 19 万円の支出となりました。

◎79号 (春季号 令和4年4月)

◎80号 (夏季号 令和4年7月)

◎81号 (秋季号 令和4年10月)

◎82号 (新春号 令和5年1月)

(9) フジバカマの株分け【支出なし】

アサギマダラ (蝶) が好む「フジバカマ」花苗の株分けを、大原草紙を通じて呼びかけました。結果として 3 名の希望者へ提供しました。

(10) 運営管理など

- 事務局の委託費用として大長瀬町在住の T 氏に 110,000 円を支出しました。
- 事務用品費（予算 1 万円）は、封筒印刷が発生したため、結果として予算超過の 18,000 円の支出となりました。

(11) 役員名簿

理事長	西田 誠
副理事長	上田 壽一
常務理事	高倉 哲法
理 事	佐々木 春美
理 事	是恒 千鶴子
理 事	渡辺 民
理 事	西山 安佳里（※）
監 事	山本 克也
監 事	安倍 百合子

（任期：2024 年 5 月 31 日まで）

※ 西山理事は、海外への一時転居のため 2023 年 3 月 31 日をもって役員を辞任することを第 5 回理事会（1 月 24 日）で了承しました。

令和4年度 収支報告書

(令和4年 4月1日 ~ 令和5年3月31日まで)

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	備考
I 経常収入の部			
1 会費収入	0	0	
正会員会費	0	0	会費 呼びかけなし
賛助会員会費	0	0	"
2 補助金等収入	18,500	55,160	
補助金(歴史文化)	0	0	
補助金(環境景観 ゴミ減)	0	36,660	年度またぎで入金あり
補助金(環境景観 油回収)	18,500	18,500	左京区役所より10ヶ所分
3 その他収入	0	161,806	
雑収入	0	6	預金利息6
寄付金	0	161,800	寄付金
経常収入 合計	18,500	216,966	
II 経常支出の部			
1 事業費	250,000	231,050	
(1)歴史文化	0	0	実施なし
(2)環境景観	0	36,000	ごみ減委託3.6万(最終)
(3)広報紙発行	150,000	195,050	79号~82号(4回)
(4)新しい里文化と育成	100,000	0	留学生奨学金 実施なし
2 管理費	160,600	163,501	
会 議 費	0	0	
通 信 運 搬 費	30,000	25,711	ハガキ7千、郵便1.2万
広 告 宣 伝 費	5,600	5,688	ホームページ、サーバー
事 務 用 品 費	10,000	18,127	用紙、インク、宛名シール、封筒印刷、名刺など
消 耗 品 費	0	0	なし
修 繕 費	0	0	なし
保 険 料	0	0	なし
賃 借 料	0	0	なし
雑 費	5,000	3,975	理事の住民票取得、銀行トクン発行など
外 注 費	110,000	110,000	事務委託費
経常支出 合計	410,600	394,551	
経常収支差額	△ 392,100	△ 177,585	
予備費	0	0	
当期収支差額	△ 392,100	△ 177,585	
前期繰越正味財産額	1,949,435	1,949,435	
次期繰越正味財産額	1,557,335	1,771,850	

貸借対照表

令和5年 3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,771,850	
未収金	0	
前払金	0	
流動資産合計		1,771,850
2 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		1,771,850
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
流動負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,949,435	
当期正味財産増減額	△ 177,585	
正味財産合計		1,771,850
負 消 耗 品 費		1,771,850

財産目録

令和5年 3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部		(内訳)	
1 流動資産			
現金預金	1,771,850		
普通預金		768,682	
振替口座		1,003,168	
JA大原支店			
ゆうちょ銀行			
未収金	0		
補補助金		0	
補立て替え払い		0	
前払金	0		
流動資産合計			1,771,850
2 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計			1,771,850
II 負債の部			
1 流動負債	0		
未払金		0	
流動負債合計			0
負債合計			0
消耗品費			
正味財産			1,771,850

令和4年度 監査報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

NPO法人

京都大原里づくり協会

理事長	西田 誠
副理事長	上田 寿一
常務理事	高倉 哲法
理事	佐々木 春美
理事	是恒 千鶴子
理事	渡辺 民
理事	西山 安佳里

会計書類を監査した結果、正確かつ適法であることを確認します。

令和5年 4月30日

監 事 山本 克也

監 事 安倍 百合子

【令和5年度 事業計画】

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

【提案にあたって】

3年に及ぶコロナウイルス禍による抑制された人と人との交流も、注意深く感染防止を講じながら徐々に回復の方向に向かっています。

私たち京都大原里づくり協会も活動展開にあたっては注意深く感染防止を対策しつつ、昨年度方針の実行2年目として意欲をもって取り組みます。

1 事業実施の基本方針

- ① 大原自治連合会や関係各種団体と連携して進めます。
- ② 個々人の多様性を尊重し認め合います。
- ③ 会の運営にあたり、民主的で透明感がある運営を心掛けます。
- ④ 財政基盤の安定を図るため、NPOの特性を生かし研究、模索します。

2 再出発2年目を意欲的に進めます

【大原をつなげる Connect】

- ① 大原住民同士をつなげる。
- ② 大原の移住者と元々暮らしている人をつなげる。
- ③ 大原の伝統文化を次の世代につなげる。
- ④ 大原の景観を未来につなげる。
- ⑤ 大原の内と外をつなげる。

3 重点的な活動

- ① 高齢者の居場所づくりの展開。
- ② 新規住民との交流。
- ③ 大原草紙の発行態勢の充実。

4 昨年度からの持ち越し事項の取組み。

- ① インパクトの明確化。里協が目指す将来像。
- ② 里づくり協会組織の見直し。

5 財政の確立のために

- ① 京都大原里づくり協会を未来につなぎ確かな活動を展開してゆくため、コロナ禍のため休止していた会費を今年度から集めます。会員の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。
- ② 大原草紙の安定的発行のための財源づくりに取り組みます。

6 具体的な取り組み

(1) 環境美化

①ごみ減「使用済み家庭用天ぷら油の拠点回収事業」【予算なし】

2023年6月4日の回収を最終日として拠点を閉鎖し、事業を終了します。大原地域内への回覧板告知および、わいわい朝市会場で張り紙を実施済みです。

②案内看板等の引き継ぎ検討【予算5万円】

過去に設置した案内看板で老朽化が確認されたものは、安全確保と景観保全の観点から、撤去または他団体への引き継ぎ（譲渡）を検討します。

(2) 海外留学助成金【予算10万円】

定款に記載されている「新しい里文化の担い手育成事業」の一環として、引き続き大原学院から海外へ留学希望者への助成金（2名分）を予算計上します。

(3) 広報紙「大原草紙」の発行【予算19万円】

引き続き年4回の発行（A3サイズ・2枚・各1000部）を計画します。自主財源作りの観点から広告費見合いとして寄付金を呼びかけます。（各1万円×4回分を目標に）

(4) 10名山登山会【予算：5千円】

今年度は3回程度の実施を予定しています。イベント保険費用として年間5千円を予算計上します。

【予定】

- ★ 5月13日（土曜日）翠黛山
- ★ 9月18日（月祭日）峰床山 ※24日（日）から変更しました。
- ★ 11月23日（木祭日）焼杉山

(5) 高齢者の居場所づくり【予算なし】

地域包括センター、社会福祉協議会、大原健康友の会、里づくり協会の4者にて引き続き協議を進めます。

(6) JA跡地（仮称：大原文化センター）への協力【予算12万円】

地域交流施設としての運営方針に賛同するとともに、相互協力が想定されることから、当会からの協力金12万円を拠出します。（雑費にて予算計上、令和6年度以降は未定）

(7) 各町の歴史調査会【予算1万円】

コロナ禍で休止していた大原各町の歴史調査会を再開します。会場費、語り部への謝礼、お茶代等として、年間1万円を予算計上します。

(8) 運営管理など【予算約16万円】

事務局の委託費、通信費、事務用品費などの経費として計161,000円を予算計上します。

(9) その他（法人運営など）

法人運営事務の簡略化や、NPO法改正に対応するため、定款の部分変更を検討します。

【追加】6/10 第22回通常総会で確認した内容

- 予備費として1万円を計上します。
- 案内看板の観光に関わる部分（惟喬親王お墓等）は、観光保勝会や惟喬親王法要実行委員会へ引き継ぎの交渉を進めます。
- 将来的に、自治連の子育て支援事業「つどいの広場ぴーちくばーちく（未就学児を対象とした親子サロン事業）」を、当NPOに移管することを目指して自治連と調整中です。今後1年間でより具体的に、行政側との調整も含めて準備を進めます。

令和5年度 収支予算書

令和5年 4月1日～ 令和6年 3月31日まで

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会
(単位：円)

科 目	前期実績	予算額	備考
I 経常収入の部			
会費収入	0	440,000	過去は約44万の実
(1)正会員	0	400,000	(約40万)
(2)賛助会員	0	40,000	(約4万)
補助金収入	55,160	0	
(1)歴史文化	0	0	
(2)環境 ゴミ減	36,660	0	事業終了
(3)環境 油回収	18,500	0	事業終了
その他収入	161,806	40,000	
(1)雑収入	6	0	預金利息 等
(2)寄付金	161,800	40,000	大原草紙発行寄付金
経常収入 合計	216,966	480,000	
II 経常支出の部			
事業費・	231,050	350,000	
(1)歴史文化	0	10,000	各町の史跡調査会 (お茶代など)
(2)環境・景観保全	36,000	50,000	看板引き継ぎ検討5万 ごみ減、廃油回収なし
(3)広報紙発行	195,050	190,000	4回分
(4)新しい里文化と育	0	100,000	海外留学 助成金2名
管理費・	163,501	286,000	
会 議 費	0	0	会議場所、お茶代など
通 信 運 搬 費	25,711	30,000	はがき7千、郵便2.3万
広 告 宣 伝 費	5,688	6,000	ホームページサーバー
消 耗 品 費	18,127	10,000	印刷用紙、インク、タック シールなど。封筒印刷無し
消 耗 品 費	0	0	
修 繕 費	0	0	
保 険 料	0	5,000	10名山 登山イベント保険
賃 借 料	0	0	
雑 費	3,975	125,000	JA跡地協力金 12万 租税効果・手数料など5千
外 注 費	110,000	110,000	事務委託費
経常支出 合計	394,551	636,000	
経常収支差額	△ 177,585	△ 156,000	
予備費	0	10,000	
当期収支差額	△ 177,585	△ 166,000	
前期繰越正味財産額	1,949,435	1,771,850	
次期繰越正味財産額	1,771,850	1,605,850	